

令和4年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 工 藤 知 彦

フロンティア秋田 山 崎 宗 雄

市民クラブ 見 上 万 里 子

共 産 党 佐 藤 広 久

公 明 党 牧 野 守

そ う せ い 小 松 健

秋 水 会 安 井 正 浩

フロンティア秋田 後 藤 良

秋 水 会 渡 辺 正 宏

1 少子化対策について

(1) 若者が安定して働ける場の確保について

ア 令和4年度県民意識調査における、若者が働く場の現状に満足をしていないという調査結果について、本市として、どのように受け止めているのか

イ 若者にとって魅力的な働く場の確保のため、これまでどのような取組を行ってきたのか、また、若者の雇用の場を確保し、安心して結婚や子育てができるための施策を、今後どのように展開していくのか

(2) 出産費用等の助成について

ア 内閣が令和4年度第2次補正予算案に提案している、妊婦や子育て家庭に対する経済的支援（出産・子育て応援ギフト）について、本市ではクーポンと現金のどちらでの給付を考えているのか

イ 子供が生まれた世帯に対し、本市独自の出産祝い金などの給付を行う考えはないか

2 林業について

(1) 森林経営管理制度について、河辺地域・雄和地域の対象地区に対して意向調査を実施しているが、現時点での集約結果及び今後のスケジュールはどうか

(2) 市有林における皆伐再造林について

ア 本市では、今年度市有林の皆伐再造林に取り組むこととしているが、その実施状況と今後の計画はどうか

イ 森林の循環利用推進のため、今後の公共施設等の整備において、木材を積極的に活用していく考えはあるか

3 保育施設を取り巻く課題について

(1) 配慮を要する子供への対応について

ア キッズ・ステップノートをより効果的に活用するため、経験豊富な保育士などが各保育施設を巡回して子供の発達を把握し、必要に応じて保護者への助言や専門機関との連携につなげるという取組を、行政が主導して行う必要があると考えるがどうか

イ 子供たちの発達を把握するためのより効果的な手法として、就学时健康診断の前年に、同健診と同じ規模の健診を全ての幼児を対象に実施する考えはないか

(2) 秋田市障がい児保育事業費補助金について、障がいのある子供が安心して通園できる環境整備と保育士確保の観点から、同補助金の交付額を増額する考えはないか

4 シニアアキカ等の運用について

(1) 河辺・雄和市民サービスセンターで開催した、シニアアキカ利用説明会において、参加者からはどのような声があったのか

(2) シニアアキカ等へのチャージの利便性向上について

ア 各市民サービスセンターにおいてもチャージをできるようにする考えはないか

イ 現在、秋田市マイタウン・バスの車内ではチャージができないが、今後、チャージをできるようにする考えはないか

5 光熱費・食料品等の価格高騰における支援について

(1) 光熱費・物価高騰に苦慮する市内の高校生用下宿施設に対して、その高騰分を補助する考えはないか

6 インフルエンザワクチン接種費用の助成について

(1) 令和2年度に実施した同ワクチンの接種費用の助成では、その対象を16歳未満の子供としていたが、今年度は19歳未満（高校生相当）とした理由は何か、また、来年度以降、子供を対象とした同ワクチンの接種費用の助成を行う考えはあるのか

7 秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」の改修について

- (1) 令和7年度を見据えた同施設の改修等に向け、工法、スケジュール等について調査・検討をしているとのことであるが、現時点での検討状況はどうか
- (2) 同施設の改修に当たっては、利用者などの意見も参考にすべきと考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 13年前の市長就任時、穂積市長はどのような秋田市の将来像を描いていたのか、また、現在、それはどの程度実現しているのか

2 外旭川地区のまちづくりについて

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の飲食店の経営が大変苦しい状況にあることから、外旭川地区のまちづくりは、卸売市場の再整備のみ先行して行い、飲食店街を含む民間施設の整備に関しては、コロナ禍以前の社会環境に戻るまで一時保留すべきではないか

(2) 外旭川地区まちづくり懇話会において、委員から整備による経済効果を示してほしいという意見があったと報じられていたが、ショッピングセンターや飲食店街を整備することによって、市内の既存の商店や飲食店が被る負の経済効果を市民に示すべきではないか

3 シティプロモーションについて

(1) 本市の田園風景や街並みの美しさを描いた勝平得之の作品は、赤れんが郷土館での展示にとどまらず、2024年の生誕120年に向けて、全国に紹介すべきと考えるがどうか

(2) 小学校3年生向けの社会科副読本「わたしたちの秋田市」には、佐竹義宣、石川理紀之助、石井露月などの秋田市の偉人について列記しているが、郷土の偉人を知ることはシビックプライドの醸成につながるため、勝平得之生誕120年を記念して、副読本を制作してはどうか

(3) 勝平得之など昭和の文化人のサロンとしての機能を持っていた、同人誌「叢園」を再評価し、発行人が住んでいた古民家に保存されているバックナンバーを市として保存し、公開すべきと考えるがどうか

(4) 積極的に映画等のロケーションに対応することは、本市の魅力をPRし、まちへの誇りと愛着を育み、さらには大きな経済効果が期待できるため、シティプロモーションの一環として、フィルムコミッショ

ン窓口を設置すべきと考えるがどうか

4 千秋公園の魅力向上について

- (1) 四季の移ろいを眺めながら飲食ができれば公園としての魅力が増すため、公募設置管理制度（P a r k - P F I）を活用した民間活力の導入により、カフェやレストランを設置すべきと考えるがどうか
- (2) これまでに行ったマーケットサウンディング等で見えてきた民間活力導入の課題は何か
- (3) 秋田藩は秋田蘭画に見られるように、進取の気性に富み、新たな文化を取り入れ、育てた歴史があり、藩主佐竹氏の城跡である千秋公園も文化を育む場所でありたいと考えるため、歴史ゾーンにある香雲亭の跡地に音楽や踊り、芝居など市民の文化活動を育む野外ステージを造るべきではないか

5 市民の文化活動の機会の確保について

- (1) 本市における文化施設のニーズを市としてどのように分析しているのか、また、現状認識はどうか
- (2) アトリオン音楽ホールが改修工事によって利用できない期間において、市民の文化活動の機会を確保するため、市としてどのような対応策を講じていくのか

6 生ごみのバイオマス発電について

- (1) 再整備後の卸売市場においては、排出される生ごみをバイオマス発電の原料として回収し、発電所に搬入すべきと考えるがどうか

7 投票率の向上について

- (1) 若年層の投票率向上のため、投票箱を乗せたバスで市立高等学校を巡回するなど、新たに臨時の期日前投票所を設置する試みを行う考えはないか
- (2) 介護が必要で投票所に足を運べない高齢者が増えてきていると考え

るが、これからさらに増える介護が必要な高齢者が選挙権を行使するために、市としてどのような対応策を講じていくのか

1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 本市の農業振興における同地区の位置づけはどうか
- (2) 農地を商業地とすることによる農地面積の減少、離農などへの影響をどのように捉えているのか
- (3) 油田のあるまちの特性を生かした開発を行うべきと思うがどうか
- (4) 市街化調整区域、農業振興地域を変更して同地区のまちづくりを行うことについて、どのように考えているのか、また、その他の地区でも同様の要望があった場合、どのように対応するのか
- (5) コロナ禍によるライフスタイルの変化を踏まえ、同地区のまちづくりを機にコンパクトシティの考え方をやめてはどうか
- (6) 予算規模をどの程度と見込み、その財源をどのように確保しようとしているのか、また、市債残高への影響をどの程度と考えているのか

2 ICTを活用したネウボラの推進について

- (1) 母子健康手帳の交付に併せ、スマートフォンアプリなどを活用して妊婦をサポートしてはどうか
- (2) スマートフォンアプリなどを活用して、出産に関する病院への連絡などを簡単に行えるようにすべきではないか
- (3) デジタルデバインド対策と並行し、結婚、出産、育児など行政との関わりが深く、ICTと親和性が高い世代に、先行してデジタル市役所のサービスを提供すべきではないか
- (4) 出産・子育てに関するデータを蓄積し、オープンデータ化することにより、広く民間の知見を集め、地域で子育てする機運を高めてはどうか
- (5) 通年での待機児童ゼロを実現するため、現在、PDFファイルで公開されている教育・保育施設等受入可能状況をオープンデータ化し、地図上で受入可能な施設を見られるスマートフォンアプリの開発を促進するなど、利便性の向上に資する取組を行ってはどうか

3 タブレット端末を利用した学校教育の現状について

- (1) タブレット端末導入の効果と課題について、どのように捉えているのか
- (2) 校内LANにおける通信速度は十分なのか、また、マイクなどの周辺機器の必要性について、どのように認識しているのか
- (3) デジタル教材の作成などにおいて、教職員の負担が増加しないための取組は行われているのか

4 秋田市公共施設等総合管理計画等について

- (1) 将来人口に合わせた保有面積などの数値目標を設定すべきではないか
- (2) 共働き世帯の増加や生活様式の多様化などにより、今後も利用が見込まれる児童館・児童センターの統廃合は慎重に行うべきではないか

5 中心市街地の環境整備について

- (1) 秋田駅周辺や中土橋周辺などに喫煙所を整備してはどうか
- (2) 中心市街地における駐車場アクセスに係る総合的な利便性を確保する取組について、現状はどうか

6 バリアフリーに関する取組について

- (1) 管理者が異なる歩道、公共施設、生活インフラ（旅客施設、郵便局、銀行等）などにおける点字ブロックの維持管理・接続状況に係る要望を集約し、改善を主導するなど、ワンストップで対応できるようにすべきではないか
- (2) 市職員へ障がい者のガイド研修を行うべきではないか

7 町内会組織・自主防災組織の組織率を100%とするための取組について

- (1) 新規分譲地などにおいては、分譲事業者が、防犯灯やごみ集積所の

設置などを通して、町内会組織の設立を主導するよう働きかけるべきではないか

(2) マンションにおいては、管理組合が町内会や自主防災組織を兼ねるよう働きかけるべきではないか

8 除排雪について

(1) 除排雪に関する町内会長アンケートの結果において、要望の多かったタイミングのよい除排雪を行うために、今冬はどのような取組を行うのか

9 新型コロナウイルス感染症への対応について

(1) 同感染症が、本市経済へ与えた影響に関する調査結果はどうか、また、今後の景気浮揚に向けた重点施策は何か

(2) 市職員が濃厚接触者となった場合のリモートワーク等の対応状況はどうか

10 戸籍事務について

(1) 電算化以前の戸籍証明書と電算化以後の戸籍証明書を両方取得した場合、電算化以後の戸籍証明書に係る手数料は免除すべきではないか

11 国民健康保険被保険者証について

(1) マイナンバーカードを健康保険証として利用することによるメリットとデメリットをどのように捉えているのか、また、本市の経費削減額を幾らと見込んでいるのか

1 市民サービスセンターの役割と改善について

- (1) 各市民サービスセンターは、地域住民に密着した行政サービスの提供と地域づくりに欠かせない機能を有しているが、今日的課題は何か
- (2) 市民サービスセンターによっては、業務量に応じて人員の配置増が必要と考えるがどうか、また、同センター全体として20歳代から40歳代までの人員が圧倒的に少ないことから、若手及び中堅職員の人員を増やすべきではないか
- (3) 道路の小破修繕、草刈り、立ち木の伐採等、地域要望が年々増加する中、地域保全費の予算は毎年減少していることから、要望に応えられるよう予算を増額すべきではないか
- (4) 地域によっては行政手続だけではなく、市民から暮らしの相談等も寄せられることから、内容によっては、本庁とオンラインを活用した相談を行えるよう体制を整えてはどうか

2 消費税インボイス制度（適格請求書等保存方式）について

- (1) 総務省は、インボイス制度に関し、地方自治体に対して「適格請求書発行事業者でない者を競争入札に参加させないこととするような資格を定めること」は「適当ではないと考える」との通知を出したが、入札などでの本市の対応はどうか
- (2) 特別会計及び企業会計における物品購入などの取引において、インボイス制度による免税事業者への対応をどのように考えているのか、また、公共事業についてはどうか
- (3) シルバー人材センター事業では、個々に加入する会員は同センターから業務委託を受け、税法上事業者として扱われるため、インボイス制度による影響を直接受けることになるが、その対策はあるのか
- (4) 市内の免税事業者は、インボイス制度によって実質増税となることから、その影響について調査すべきではないか
- (5) 市としてインボイス制度導入の中止を国に求めるべきではないか

3 外旭川地区まちづくり基本構想について

- (1) 同基本構想の策定を進める中で、同地区まちづくり事業に係るインフラ整備への本市の投資額は幾らと想定しているのか
- (2) 新スタジアムの整備・運営は、ブラウブリッツ秋田を主体とした特別目的会社を事業主体として想定しているとのことであるが、協議はどこまで進んでいるのか
- (3) 地域への経済効果について、地域内経済の好循環が拡大し、域内の所得や雇用の増加が見込まれるとしているが、その具体と根拠は何か
- (4) モデル事業での成果を本市全体に波及させるとするならば、本市全体の経済と雇用への効果についても数値で示すべきではないか
- (5) 同基本構想による周辺地域や本市の商業者・事業者への影響をどう捉えているのか

4 原油価格・物価高騰から市民の家計と営業を守る本市独自の支援策について

- (1) 本市独自の判断で実施可能な家庭ごみ処理手数料、水道料金及び下水道使用料の引下げを全世帯を対象に実施する考えはないか、また、子育て世帯を支援するため、学校給食費の保護者負担への補助を行うとともに、乳幼児のミルク代やおむつ代への支援金を給付すべきではないか
- (2) 市内小規模事業者が営業を継続できるよう、プレミアム付商品券の発行だけではなく、本市独自の直接支援を行うべきではないか

5 新型コロナウイルス感染症の第8波への対策について

- (1) これまでの本市における新型コロナウイルスワクチンの接種率と、オミクロン株対応ワクチンの接種率はどうか、また、副反応や有効性への懸念から接種を迷う人が多いとされているが、その対策はどうか
- (2) 新型コロナウイルスの派生した変異株が出現し、感染拡大抑制のための徹底した公的PCR検査体制の整備、発熱外来の拡充及び診療の

強化が必要と考えるがどうか

(3) 市民に対し、第8波に関する情報提供と感染拡大抑制に係る啓発を積極的に進めるべきではないか

(4) インフルエンザとの同時流行の防止策について

ア 発熱の初期段階で判断できるよう、全世帯に抗原検査キットを無料配付すべきではないか

イ 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合、市民の不安を取り除くため、いち早く医療機関を受診できるよう体制を強化すべきではないか

6 会計年度任用職員の処遇改善について

(1) 会計年度任用職員制度は運用開始から3年目を迎え、同任用職員からは「3年目の壁」に対する不安の声もあり、再度の任用においては、本人の継続意思を確認した上で、勤務実績に基づく任用も行うべきではないか

(2) 今年10月1日から秋田県の最低賃金は時給853円になったが、会計年度任用職員のうち現業職員は、給料表において時給ベースでそれを下回る状況もあることから、給料表を改定し、底上げすべきではないか

(3) 本市の会計年度任用職員は、パートタイムで任用されている職員が圧倒的に多いが、勤務時間の実態はどうか、また、フルタイムでの任用を希望する声はないのか

7 千秋公園再整備基本計画について

(1) 同計画が改定されてから5年になろうとしているが、取組の進捗状況と課題は何か

(2) 基本方針では、桜の更新について示されているが、これまで何本更新されたのか、また、貴重な動植物の保護及び管理について、自然環境調査を実施するとあるが、その結果と対策はどうか

(3) 公園管理事務所を移転整備するとの計画を示しているが、具体的に

いつ行うのか

(4) 大手門の堀遊歩道整備について

ア 令和4年策定の遊歩道整備基本計画において、当初の動線は広小路側からの視線を妨げないよう北側に配置するとしていたが、修正後の動線では、どのような理由で視線を妨げないと判断したのか、また、生態系への影響調査結果はどうか

イ 約4億円の予算で遊歩道を整備するとのことであるが、費用対効果をどう考えているのか、また、設置後の管理費及び運営費を幾らと見込んでいるのか

ウ 遊歩道の利用期間について、4月から11月までを想定しているとのことであるが、花見などのイベントを含めた混雑期及び夜間の利用者の安全をどう確保するのか、また、閉鎖期間の管理体制の検討状況はどうか

8 地域の諸課題について

(1) 旭川地区コミュニティセンターの多目的ホールに設置している水銀灯について、不具合による修繕の要望が出されているが、LED照明に変えるべきではないか

(2) 明德地区コミュニティセンターのエアコンは1階の一部の部屋だけに設置されているが、利用者から要望がある全ての部屋に設置すべきではないか

(3) 旭川児童館と旭川小学校プール脇の側溝は、土砂が詰まっている状態が放置されており、降雨のたびに水があふれ、周辺の水浸し状態が続いていることから、早急に改修工事を行うべきではないか

1 賃金の引上げに対する本市独自の支援について

- (1) 若者の地元定着を図るため、若者の賃金引上げを目的とした企業支援を実施すべきと考えるがどうか
- (2) 最低賃金の引上げは、コロナ禍で経営に苦しむ中小・零細企業にとってさらに大きな負担となることから、中小・零細企業に対する支援を行う考えはないか

2 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 土地利用上の課題に対応するため、地域未来投資促進法の活用を想定しているが、活用に向けた県との協議の進捗状況はどうか

3 中心市街地の活性化について

- (1) 中心市街地の中には、千秋公園やあきた芸術劇場ミルハスなど、にぎわい創出に寄与する施設が幾つも整備されていることから、県や関係団体と連携し、回遊性を高めるための取組を行うべきと考えるがどうか

4 公共交通空白地域の解消について

- (1) 公共交通空白地域における一部の地区では、新たな生活交通として買物タクシーを導入しているが、それ以外の地区での導入に向けた今後の見通しはどうか
- (2) 公共交通空白地域の解消に向け、路線の見直し及びICTを活用した本市の運行システムの在り方を検討していくとしていたが、その後の進捗状況はどうか

5 空き家対策について

- (1) 利活用が困難な空き家を長年放置した場合には、倒壊等の危険性が高まり、近隣住民の生活を脅かす可能性があることから、空き家の所

有者に対して適正な管理を行うよう、本市が積極的に働きかけを行うべきではないか

(2) 空き家の所有者が秋田市空き家バンク制度に登録する際の要件として、事前に宅地建物取引業者との媒介契約が必要とされているが、不動産の売買に不慣れで手続に不安を感じる市民もいることから、この要件を緩和する考えはないか

(3) 空き家の利用希望者が気軽に相談できるよう、空き家コーディネーターを公募し、市民サービスセンターに配置してはどうか

(4) 家族や親族が空き家に関して気軽に相談できるよう、新たに本庁舎1階のご遺族支援コーナーや秋田市老人福祉センター内にある秋田市権利擁護センターなどに相談窓口を設置してはどうか

6 高齢者のデジタルデバイドの解消等について

(1) 国のデジタル活用支援推進事業について、本市におけるこれまでの実施状況はどうか

(2) 市民サービスセンターなどを会場として、高齢者向けのスマートフォンの利用方法に関する講習会等を本市が主催してはどうか

(3) 町内会・自治会におけるデジタル化の推進に取り組んではどうか

(4) 本庁舎1階に設置しているマイナポイント手続支援窓口の対応について、待ち時間が長い、途中で受付を締め切られたなど、市民から不満の声が多く寄せられていることから、早急に改善すべきではないか

7 帯状疱疹ワクチン接種への助成について

(1) 本市独自に接種費用を助成すべきと考えるがどうか

8 農業施策について

(1) 農業者への支援について

ア 生産コストの増加が農業者の大きな負担となっていることについて、本市としてどのように認識しているのか

イ 農業経営の持続化を図るため、農業者に対する早急な支援が必要

と考えるがどうか

- (2) 本市における離農及び耕作放棄地の現状と課題について、どのように認識しているのか、また、その課題をどのように解決するのか
- (3) 環境保全型農業直接支援対策事業について、これまでの実績と今後の課題は何か

9 ふるさと納税について

- (1) これまでの寄附金の使途はどうか
- (2) これまでのPRにおける効果と課題について、どのように認識しているのか
- (3) より多くの方から寄附を募るためには、今後どのような取組を強化していく必要があると考えているのか

1 持続可能な市政運営に向けたガバナンス強化について

(1) 財政の持続可能性の確保について

ア 将来にわたる責任ある財政運営を確保するため、持続可能な財政構造を構築すべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか

イ 財政規模縮小時代における将来投資は、いかにあるべきと考えているのか

(2) 子供施策の方向性について

ア 少子化対策について

(ア) これまで取り組んできた少子化対策をどう評価しているのか、また、今後の取組の方向性をどのように考えているのか

イ 子供の人権と権利の擁護について

(ア) こども基本法制定の意義をどう捉えているか、また、同法の目的及び趣旨を子供施策にどのように反映させていくのか

(イ) 権利の主体であることを子供自身をはじめ市民一人一人において、正しく理解・認識できるようにするための取組が重要となっているが、その方策の具体はどうか

(ウ) 悩みや不安などを抱える全ての子供にとって、目に入りやすく、気軽に相談できる総合的な相談体制の充実・強化を図るべきと考えるがどうか

ウ 子育て支援策について

(ア) 来年4月に予定されているこども家庭庁の創設をどのように受け止め、今後どのように取り組んでいくのか

(イ) 子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、小中学校の学校給食費の無償化及び高校生までの医療費の無償化の実施に向け、調査、検討等を開始してはどうか

(3) 雇用形態の多様化及び課題への対応について

ア 正規雇用及び非正規雇用におけるいわゆる「労働市場の二重構造」の現状及び課題をどのように捉えているのか

イ 不本意非正規雇用労働者の実態をどのように把握しているのか、また、正規雇用化の促進に向けた取組を強化すべきと考えるがどうか

(4) 物価高騰から市民生活を守る経済対策について

ア 必要な財源の確保に手を尽くし、物価高騰の影響が特に大きい市民及び事業者を支援するため、本市独自の経済対策を積極的に講じてはどうか

(5) まちづくりにおけるガバナンスについて

ア まちづくりの歩みについて

(ア) これまでのまちづくりの歩みをどのように総括するのか、また、今後の方向性はどうか

イ 外旭川地区まちづくり構想について

(ア) コンパクトシティ政策との整合性について、市民の誰においても分かりやすく、かつ得心できる説明を求めたいがどうか

(イ) 同地区まちづくり事業の範囲は、最終的には本市が設定することとされているが、その判断基準及び考慮要素並びに目途はどうか

(ウ) 土地利用に係る規制・制限における課題解決に向けた今後の取組はどうか、また、地域未来投資促進法における活用上の課題をどのように捉えているのか

(エ) 基本構想が策定されることにより、本市及び同地区まちづくり事業パートナーは、それぞれどのような役割を担い、どのような義務及び責任を負うこととなるのか

(オ) 本構想実現のための本市財政負担等の態様、規模及び財源等について、現時点においてどのように想定しているのか、また、これらに係る同地区まちづくり事業パートナーとの協議の状況はどうか

ウ 文化力を生かしたまちづくりと中心市街地の活性化について

(ア) 文化力及び芸術文化ゾーンとどのように融合・結合し、中心市街地としての新たな魅力と活力を生み出そうとしているのか

- (イ) 文化力創出の要としての芸術文化ゾーンのガバナンスは、いかにあるべきと考えているのか
- (ウ) シティプロモーションやブランド形成への取組には新たな視点と切り口が必要になると考えるが、誰が主体となり、どのように展開していくのか
- (エ) 次代の担い手の育成を図るとともに「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を目指すためには、芸術文化ゾーン及び文化創造力と学校教育との融合・連携が重要であると考えているが、その具体策はあるのか
- (オ) 外旭川地区まちづくり構想における取組が進展する中で、中心市街地や既存商店街におけるリスクマネジメントの重要性が増すとともに、ソフト、ハード両面の取組における本市の主体性がこれまで以上に問われるものと考えているが、その見解はどうか

1 グローバル経済の縮小と秋田市の採るべき道

- (1) 予算編成に当たり、そのプライオリティー（優先順位）はどのように考えているのか
- (2) 外旭川地区のまちづくりは、多くの市民を幸せにするために有効であるのか
- (3) 経営改善計画策定に対して、秋田市の支援が必要ではないか

2 行政サービス提供者としての市民への接遇と管理体制について

- (1) 市民への接遇に当たり、思いやりが不足しているところが多いのではないか
- (2) 地方独立行政法人や業務委託先の管理・監督が不十分ではないか

3 公共交通について

- (1) シニアアキカ発行遅延の原因は何か、また、今後の解消の見込みはどうか
- (2) バス路線ルートの見直しと、ICカードによる乗り継ぎ精算システム導入の見通しはどうか
- (3) 公共交通事業者への支援策はどのように考えているのか

4 地域の諸課題について

- (1) 泉ハイタウン町内（泉菅野二丁目）の管理放棄地への対応はどのように考えているのか
- (2) 市内テニスコートの修繕計画はどのように考えているのか

1 第31回北前船寄港地フォーラム in パリについて

- (1) フランス・パリ市のセーヌ川沿いで披露された同フォーラム開会式における竿燈演技の狙いは何か、また、集客や見物人へのアプローチをどのように行ったのか
- (2) 同フォーラムに参加したことにより、竿燈まつりの魅力の発信や観光資源をPRし、海外からの観光客誘致の第一歩を踏み出したとのことであるが、今後の海外からの観光客の推移をどのように見込んでいるのか

2 環境施策について

(1) 脱炭素化に向けた取組について

- ア 市有施設において、太陽光発電システムと蓄電池を組み合わせ導入する考えはないか
- イ コンポスターなどを保有し、生ごみを自家処理できる世帯に対して、生ごみ以外の家庭ごみ専用のごみ袋を配付してはどうか

3 公共交通の利用増加に向けた取組について

- (1) 本市のバスに関する施策は、利用者に対する利便性向上には寄与しているが、その一方で、利用者数の減少は続いているため、一層の利用者の掘り起こしが必要であるという意見もあるが、そのことに対する市の考えはどうか
- (2) バス利用のきっかけづくりやバスのよさを知ってもらうため、バス事業者と協力し、「バス無料の日」を実施してはどうか
- (3) 利便性向上を図るため、コンビニエンスストアやスーパーマーケットとバス事業者が連携し、バス停近くの店舗のイートインスペースをバス待合スペースとして活用できるようにしてはどうか

4 教育について

(1) コロナ禍での学習環境について

ア 新型コロナウイルスの感染等により自宅待機している児童生徒に向けて、希望者には積極的にオンライン授業を行ってはどうか

(2) 部活動の地域移行について

ア 休日の活動は生徒の自主性に任せ、部活動は原則休みとすべきではないか

5 ソユースタジアムのトイレについて

(1) 同スタジアムのトイレについて不足を訴える声も多いことから、増設すべきではないか、また、和式トイレを全て洋式化すべきではないか

(2) 子供のおむつ替えスペースを備えた多目的トイレを増設することにより、障がいのある方や幼い子供を持つ方の利便性向上を図るべきではないか

(3) 多目的トイレまでの動線上で通路の幅が狭い箇所について改善を図るべきではないか

6 子育て施策について

(1) ファミリー・サポート・センターについて

ア 国の子育て支援員制度を活用して、協力会員のさらなる質の向上を図ってはどうか

(2) 産後ケア事業について

ア 産後で疲弊している母親の負担軽減のため、事業の利用に関し、電話やオンラインによる面接や申請も可能にしてはどうか、また、利用者が再度同じ施設を利用する際の手続を簡略化できないか

イ 実施施設への産後ケア事業実施依頼書の送付などをオンライン化することにより、業務の迅速化を図ってはどうか

7 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）について

(1) 男性の同ワクチンの接種は咽頭がん、肛門がんなどの抑制効果が見

込めるとともに、パートナーと一緒に接種することで子宮頸がんのさらなる予防につながることから、男性の接種費用も助成する考えはないか

8 中心市街地のにぎわい・活性化について

- (1) 中心市街地のにぎわい・活性化を生むため、県内外のストリートパフォーマーの登録制度を導入し、登録者がパフォーマンスを可能とする区域を、エリアなかいちのにぎわい広場やなかいち広場、秋田駅西口駅前広場、千秋公園ポケットパーク、秋田市文化創造館の屋外エリアなどに設定してはどうか

1 本市の将来展望について

- (1) バックキャストの手法を取り入れ、市民の安全安心を基盤とした、市民が希望の持てる本市の将来展望をどのように考えているのか

2 中心市街地について

- (1) 仲小路への大屋根設置は、市として当事者意識を持って、本市の事業として位置づけるべきと考えるがどうか
- (2) 現在の秋田市公営駐車場と隣接するバス停広場の敷地を合わせ、駐車場を再整備すべきと考えるがどうか
- (3) エリアなかいちの商業棟について、改めてにぎわい創出に資する拠点として、本市が積極的に関与していくべきと考えるがどうか
- (4) 「芸術・文化」をキーワードとした新たな中心市街地の活性化策の具体はどうか

3 財政について

- (1) 予算編成に際し、市民生活に身近な行政サービスが行き渡るよう予算を確保するとともに、一律に削減する方針は見直すべきではないか

4 シティプロモーションについて

- (1) シティプロモーションをより先鋭的で実効性のある取組にすべきと考えるがどうか

5 コミュニティセンターへの再生可能エネルギーの導入について

- (1) コミュニティセンターの整備に際し、段階的にでも再生可能エネルギーを導入すべきと考えるがどうか

6 子育て支援について

- (1) 子育て施策における所得制限を撤廃する考えはないか